

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名		交通安全施設設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	木永 和博
	施策	16	交通安全対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	白濱 裕
	施策の柱	52	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10050	根拠法令	交通安全対策基本法		成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ④
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> カーブミラー、区画線等交通安全施設の設置、修繕等、交通安全施設の維持管理を行なう事業である。 また、各地区からの要望に応じて、県公安委員会が整備する信号機や規制標識などの交通規制関係の要望を、とりまとめ、大津警察署に上申している。 住宅地並びに事業所の増加に伴い人口、自動車等も多くなり、市道の総延長距離も延びており、交通危険箇所は増加している現状がある。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 地区からの要望書の取りまとめ及び市内全域の調査、設置の決定、設計書の作成、発注、検査、支払い 地域からの報告または破損の確認、現場確認、発注、検査、支払い 地区からの要望書の取りまとめ及び市内全域の調査、公安委員会へ要望書の提出
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> 需用費 (施設修繕費) 工事請負費
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> カーブミラー設置、停止線、標識等の要望が多く寄せられている

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> 市民又は区長等からの要望や連絡を受け、現地を確認し、カーブミラー新設、同修理を行った。また、規制を必要とするものについては、大津警察署へ要望を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> カーブミラー、停止線、区画線、標識の設置工事及び修繕 	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:カーブミラー新設数	箇所	
→ イ:カーブミラー修繕数	箇所	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・市民	→ ア:市民	人
	→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
<ul style="list-style-type: none"> 見通しの悪い交差点及び危険箇所を減らし、安全確保を維持する。 未然に交通事故を防止する。 	→ ア:交通事故発生件数	件
	→ イ:	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	箇所	20	0	15	15	15	15	15	15
	イ	箇所	69	0	95	66	95	95	95	95
② 対象指標	ア	人	59,067	0	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500
	イ									
③ 成果指標	ア	件	242	219	235	196	230	225	220	215
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	5,028	7,207	5,623	5,578	5,623	3,000	3,000	3,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	4	3	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	0	0	200	130	200	200	200	200
	(B) 人件費計	千円	0	0	796	0	796	796	796	796
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,028	7,207	6,419	5,578	6,419	3,796	3,796	3,796

事務事業名	交通安全施設設置事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 カーブミラーの等の交通安全施設の設置を行い、事故件数の減少に務める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・要望があった交通安全施設を整備することにより、危険箇所、事故件数が減少すると思われ、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人口増加に伴う交通量の増加等により事故発生の可能性は増加すると考えられる。それに対応し、事故を減少させていくためには、事業費の削減余地はないものと考えられる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 要望箇所は増えてきており、その調査や設置事務に要する時間もあり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・交通安全施設は道路利用者が指定されないため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・交通安全施設等の管理は行政の責務であり妥当である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

・交通安全施設の整備については、地区からの要望に応じて、合志市通安全に対する重要度、緊急度を判断し、設置に勤めた結果、市としては、カーブミラー新設15基、修繕66基、区画線18箇所を整備することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

住宅地の造成により通行量が増えている箇所では要望が増加しており、事故の減少のため、早期に対応していく。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策

設置に対する隣接地の了承や、住宅、構造物があるため、希望の位置には設置できないこともある。効果的な安全施設とするためにも、理解を得られるよう交渉していく。